

I C T 活用工事に係る 3 次元出来形管理の施工管理等の作業単価について
(R05.7.1 制定)

1. 作業単価を設定する項目

I C T 活用工事の施工プロセス①～⑤のうち、下記項目について、作業単価を設定する。

- ① U A V を用いた 3 次元出来形管理の施工管理等
- ② T L S を用いた 3 次元出来形管理の施工管理等

※原則、3次元出来形管理の施工管理はUAVによる航空写真測量によるものとする。
なお、現場条件等から協議によりTLSを用いることができる。

2. 作業単価の算出方法

表1の作業単価を用いて、以下の算定式により実施単価を算出する。

$$\text{作業単価} = \text{「n単価」} + [\{ \text{「(n+1)単価」} - \text{「n単価」} \} \times (x - n)]$$

x : 実施面積(ha)

n : 実施面積「x」の整数

※ただし、実施面積が1ha未満の場合は「1ha単価」とする。

表 1 : 各面積実施時の作業単価 (円)

n	3次元出来形管理の施工管理等 (UAV)	3次元出来形管理の施工管理等 (TLS)
1ha	547,000	663,800
2ha	629,000	922,400
3ha	775,200	1,211,000
4ha	965,600	1,506,000
5ha	1,157,000	1,802,000
6ha	1,342,000	2,097,000
7ha	1,440,000	2,392,000
8ha	1,722,000	2,687,000
9ha	1,913,000	2,983,000
10ha	1,954,000	3,278,000

(例) 実施面積 1.2ha の 3次元出来形管理の施工管理等 (UAV) の場合

$$\begin{aligned} \text{実施単価} &= \text{1ha 単価} + (\text{2ha 単価} - \text{1ha 単価}) \times \text{実施面積} - \text{整数} \\ &= 547,000 + (629,000 - 547,000) \times (1.2 - 1) \\ &= 547,000 + 82,000 \times 0.2 \\ &= 547,000 + 16,400 \\ &= 563,400 \text{ (円)} \end{aligned}$$